

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500039
法人名	医療法人誠心会
事業所名	グループホーム百美(光の詩)
所在地	鹿児島県日置市吹上町小野1478番地 (電話) 099-245-1570
自己評価作成日	平成30年12月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年1月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の行事には出来るだけ参加し、また、当施設の行事にも参加して頂ける良い地域関係を築いています。家庭的で穏やかな生活と温かく家庭のように接するスタッフと、何でも話し合える雰囲気を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 法人全体で「日本一やさしい心の10カ条」を共通理念に掲げ実践している。ホームは同法人の特別養護老人ホームに隣接し、同フロアに小規模多機能ホームが併設され日常的に交流がある。医療機関、多数の在宅介護サービス提供事業所や介護保険施設、福祉施設などを運営している。また、事業所は、各協同生活住居の定員の範囲内で空床居室を利用しショートステイが利用できるよう支援している。
- 職員は、20代から70代と年齢層が幅広く男性職員が多い。職員の関係性も良好で離職も少ない。管理者は、年2回個人面談したり、ミーティングなどで意見や要望を聞く機会設けており、出された意見などはホワイトボードを活用し職員間の情報伝達や共有に活かしている。法人全体の研修体系も構築されており、資格取得にも理解があり、サポート体制ができています。法人が受験対策を念頭に研修や勉強会を体系化している。そのため、介護福祉士を始めとする国家有資格者が多く、今年度も資格取得を目指す職員がいるなど人材育成に力を入れている。また、法人全体の新人歓迎会、忘年会やホーム単独の食事会や女子会などがあり、職員間の親睦を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中でその人らしく生活できるよう支援する理念をつくりあげ、毎日の申し送りの後、全員で唱和し実践につなげられるようにしている。	職員は、理念を意識したケアに努めるとともに笑顔を保つことができないよう支援し、理念を共有しミーティングや職員会議で振り返りを行い実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に利用者様、職員が参加させていただいたり、施設の行事にも地域の方に参加させていただいたり、日常的に交流している。	地域とホームの敬老会は、相互に参加があり、地域の清掃活動、六月灯の灯籠作り、小学校の運動会などへの参加、法人全体の夏祭りは、地域交流として規模も大きく利用者、家族も参加している。また、ボランティアを受け入れ、地域と日常的に繋がり協力関係が築けるよう取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	人材育成の貢献として、地域交流や会議等に参加していただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの内容や外部評価についての説明や結果報告を行い、行政・地域の方々の意見を聞き、その後職員全員で検討しサービスの向上に活かしている。	会議は、小規模多機能ホームと合同で開催されているが、家族の参加が少ないため次年度は、家族の参加しやすい日程について検討する予定である。メンバーに消防訓練に参加していただき防災についての意識向上を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	百美だよりや運営推進会議に参加していただき、自己評価も年に1回は提出し、意見を聞いたり、入居者様や、ご家族様の相談に向いたり、電話等により聞いたりしながら協力関係を気づくように取り組んでいる。	市担当者や福祉事務所職員とは、電話や面談などで相談やアドバイスをいただくなどして協力関係を築いている。管理者は、市主催の勉強会にも勤務調整するなどして参加できるよう配慮している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回身体拘束廃止委員会を開催し、具体的な例を挙げ日頃の自分たちのケアに照らし合わせ身体拘束をしないケアに努めている。	平成30年度改正により、身体的拘束等適正化の推進により、指針の整備を行い、会議は、毎月1回実施、研修は、事例検討を取り入れたり、外部講師を依頼したり、担当職員が中心になり、内部研修を計画し定期的に自己研鑽して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月ミーティングや勉強会等にて高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ち、また、日頃より職員同士の言動や行動に注意を払い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	誠心会全体による勉強会等に参加し、自施設での勉強会により全職員に学ぶ機会を持っている。対応者が必要と思われる利用者がある場合には、運営者の指示により説明、アドバイスをを行い支援できる体制となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、事業所の考え方や取り組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行っています。又、起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応、医療連携の実際について詳しく説明し同意を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃の会話の中や家族会等で常に問いかけ、何でも言っていただけるような雰囲気作りに留意しており、又、玄関に意見箱を置いたり、面会簿に意見欄を儲け書いていただき運営に反映させています。	利用者や家族には、面談で意見、要望を聞いたり、家族向けアンケート調査の結果を分析しケアに活かしている。毎月、手紙や写真を添えて、ホーム便りを郵送している。また、面会簿に意見要望を記入する欄を設け、面会時に記載していただくようお願いしているため、多様な意見があり出された意見は運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ミーティングや勉強会を行い意見を聞いたり、日頃から意見や要望等を言いやすい雰囲気作りを行っています。	幅広い職員層を有しており、職員の関係性も良好で離職も少なく、中でも男性職員が多い。年2回個人面談し、ミーティングなどで話し合い、ホームや小規模多機能ホームと合同での主任会議で協議し、職員の意見や提案が反映されるよう図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月研修会等を行い職員や職場の状況報告をし、問題点を話し合い向上心を持って働けるように現場環境・条件の整備に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の事業所内の研修だけでなく、事業所外の研修にも多くの職員が受講できるようにしており、研修報告もミーティングや勉強会にて発表してもらっています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の職員と意見交換や相談等をおこなったり、サービスの質を向上させています。また、今後は他施設見学を取り入れたネットワークづくりを行っていくように努力する。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>相談受付時や契約時にご本人様から可能な限り情報収集を行い、求めていることや不安を理解し、共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談受付時や契約時にご家族様から可能な限り情報収集を行い、求めていることや不安を理解し、共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご相談を受けた時、入居者様やご家族様の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援の提案や相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら、必要なサービスにつなげるようにしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており普段から入居者様に教えていただける場面が多くもてるように工夫や声かけに配慮しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様のご家族に月1回状況や写真を添えてお手紙を送付、必要に応じて電話をさしあげたりし、日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め、ご本人を支えていくための協力関係を気づいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の一人ひとりの生活習慣を尊重し、これまでの経験を生かした暮らしが出来るよう支援しています。また、ドライブの日をもうけ入居者様の家や思い出の場所に行き知人と会話をしたり、人や場所との関係がとぎれないように支援しています。	地域の方や知人などとの交流や関係性が途切れることがないよう公民館活動に出かけている。また、家族に協力をいただきながら、墓参り、温泉、ヘアーカット、外来受診などの外出や外泊を支援している。パンの移動販売の訪問も利用者の楽しみになっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のお茶や食事、レクリエーションの時間に多くの会話をもちみんな楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせるような場面づくりをするなど、入居者様同士の関係がうまくいくように、職員が調整役となって支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了された方も、職員が様子を見に行ったり、又、ご家族からの相談にのったり、継続的な付き合いができるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中での会話や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。又、意思疎通が困難な方には、ご家族様や関係者から情報を得るようにしています	重度化し、自発語も少なく意志疎通が難しい方もおられるが、笑顔を見せて下さる利用者もあり、常に利用者に寄り添い傾聴に努めたり、表情や言動などで思いや意向を汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に関係者から聞き取りをしたり、契約時及び面会時に時間をかけ、暮らしの情報や生活環境についてお聞きし、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の一人ひとりの状態を把握し、できないことより出来る事に注目し、その人全体の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様が自分らしく暮らせるようご本人やご家族様の要望を聞き、職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っています。	本人のやりたいことやできることを引き出し自立支援を意識しプランニング、生きがいや役割を計画に盛り込み、本人本位に主体性のある介護計画書を作成している。毎月モニタリングを実施し、計画の見直しも柔軟に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや入居者様の状態変化は、個々の記録に記載し、職員間の情報共有をしています。又、個別記録を基に介護計画の見直し、評価を実施しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常生活の中でご利用者様一人ひとりのニーズに対応した支援やサービスに取り組んでいる。また、ご利用者様やご家族様のご要望等に応じて多機能について説明を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流や消防等周辺施設からの理解・協力が得られるよう取り組んでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族様が希望するかかりつけ医となっています。主体が病院なので医療連携はもちろん、適切な医療が受けられるように支援しています。	隔週の訪問診療による診察や他科受診は、家族に協力をもらっている。また、必要に応じて訪問歯科などの訪問や毎週の訪問看護による健康チェックを受けるなど医療連携が図られている。夜間や緊急時も24時間医療連携がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員として看護職員も配置しているが、他、訪問看護との契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言を行ってもらい、職員と訪問看護師とは気軽に相談できる関係ができており、看護師と医療機関との連携も密にとれる体制が確保されて		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、ご本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにしています。また、ご家族様とも回復状況等情報交換しながら、速やかな退院支援に結び付けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期看取りに関する説明を行い、ご家族様の希望があれば終末期に向け入居者様、ご家族様、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしています。	「重度化対応・看取り介護指針」があるが、看取りの経験はない。緊急時や重度化した場合などは、指針や方針を共有し、主治医や家族、関係機関と十分に話し合い、納得のいく最期が迎えられるよう支援している。職員の勉強会や研修会は法人全体で取り組み職員教育に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日頃より、緊急対応について話をしたり、勉強会やミーティングで応急手当を指導して、全ての職員が初期対応できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回入居者様、地域の方と一緒に避難訓練を行い、地域協力体制については、運営推進会議や連絡網にも記載し協力をお願いしています。</p>	<p>ホーム周辺の地域住民の方の協力体制があり、誘導や見守りといった役割分担を避難訓練にて確認している。火災や地震を想定した訓練を実際に夜間帯に実施している。水や米、レトルト食品などの食材や防災グッズを備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの尊厳を重んじ、個々に合わせた言葉使いや対応を心がけるよう勉強会やミーティング時に、全職員に周知しています。	職員の声かけが自然で丁寧であり、居室の入退室時のノック、声かけが徹底されている。定期的な研修会が開催されており、利用者の尊厳やプライバシーに配慮したケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、入居者様の言葉、行動等により、希望、関心、嗜好を見極めご利用者様が選びやすい場面を作ったり、入居者様の意思を尊重するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースに合わせて生活ができるようお一人おひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ個性のある支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣は、入居者様の同意を尊重し、必要な方には、職員も一緒に考えたりと入居者様の気持ちにそった支援を行っている。理美容については、ご本人の希望に合わせたカットや毛染めをしてもらえるよう、連携をとっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の体調等を考えながら、一緒に買い物や調理をし、ご利用者様と職員が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができる雰囲気大切にしています。	栄養士の献立を参考に、両ユニット同じ献立である。食事形態やとろみをつけるなど工夫し、姿勢を整えたり、食事介助や見守りにて食事が摂れるようケアしている。能力に応じたお手伝いをもらい、外食支援も実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量を毎回チェックし、職員全員が入居者様の食事状況を把握できるようにしています。状態によっては、職員で検討したり、管理栄養士に相談して食事形態を変更するなどの工夫を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後見守り、介助にて口腔ケアを行っている。毎月1回歯科医師により舌・義歯洗浄や口腔ケア及び指導、助言も受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や介助を支援しています。尿意のない入居者様も時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄できるよう支援しています。	夜間はポータブルトイレを併用、布下着に尿パットを当てトイレで排泄される方がおられるが、大半はリハビリパンツを使用している。職員は、おむつの勉強会に参加し最新の知識や技術を習得、日々のケアに活かしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や、散歩、軽体操等により自然に排泄できるように取り組み、必要に応じて医療連携により主治医に相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入居者様のご希望を確認し、いつでも入浴ができるように努力している。	皮膚の弱い方もおられ、入浴剤は使用しておらず、本人専用の石鹸を使う方がおられる。同性介助にて入浴される方や、家族と温泉に行かれる方がおられる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や表情を考慮し、日中の生活を促し、夜間の安眠へとつなげている。寝付けないときには、おしゃべりをしたりする等配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表を介護記録に付け、職員全員が把握できるようにしている。服薬後も異常、変化がないか注意し異常があればすぐに病院、主治医へ連絡するようになっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	料理・手芸その他の活動の中で、お一人おひとりの力を発揮してもらえるようお願いし、その後感謝の言葉をかけるように心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様の気分や希望に応じて散歩・買い物・ドライブ等に出かけ季節を肌で感じてもらい心身の活性につなげるように支援しています。	天候の良い時や計画的にドライブしたり、外出ツアーにて季節ごとのイベントや風物詩を楽しみ、季節感を味わっている。また、家族の協力をいただきながら外出が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に出かけた時には、入居者様に好みのものを選んでいただいたり、お支払いをしていただいたりして、買い物を楽しんでいただけるよう、また、自己決定により自信を持っていただけるように支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様、知人等に電話しやすい雰囲気をつくったり、会話が他の入居者様に聞こえないように子機を使って自室にて話していただく等の配慮をしたり、暑中見舞い等を書いていただいたり日常的に電話や手紙を出せるよう支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様にとって使いやすい配置や馴染みの物を取り入れ家庭的な雰囲気になるように心がけ、壁飾りは、入居者様と一緒に考え季節あるものにしていきます。</p>	<p>両ユニットが事務スペースで繋がりが行き来ができる構造になっており、ガラス張りの空間から互いの生活が垣間見られ、コンパクトにまとまった共有スペースである。対面式キッチンがあり、ソファが設置され過ごされる方がおられたり、壁の装飾が季節感を与えている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>スペースがあり、個々自由にソファでくつろいでいただいたり、自室で気の合った利用者様同士で思い思いに過ごせるように配慮しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、写真や手作りカレンダー等入居者様それぞれの居室作りが行われるよう配慮しています。	花や蝶などを型取ったステンドグラスが目を引く居室扉である。家族写真やテレビ、時計などの使い馴染んだ物を持ち込み居心地よく過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで設計しており、いたる所に手すりなども設置しており、居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない